



人権擁護委員活動の功績を称え

6/10 全国人権擁護委員連合会会長表彰・広島法務局長表彰

人権擁護委員としての功績が顕著であるとして、西田弘展さんが全国人権擁護委員連合会会長表彰を、梅本光子さんが広島法務局長表彰を受けられました。人権擁護委員は人権相談活動のほか、人権啓発活動を職務として地域に密着したさまざまな活動を行っています。

西田さんは、「日々人権擁護委員として役割が果たせるよう自己研鑽に努める日々でした」と話しました。

梅本さんは、「人権に関する悩み事がある場合は1人で悩まず相談してください」と呼びかけました。



▲西田さん（写真左）と梅本さん（写真右）

国境・世代を越えた、熱き戦い

7/27・28 けん玉ワールドカップ廿日市2024開催

「ウッドワンけん玉ワールドカップ廿日市2024」が、グローバルリゾート総合スポーツセンター サンチェリーで7月27日、28日の2日間に渡って開催されました。11回目となる今大会は938人のけん玉プレイヤーが参加し、磨き上げた技で競い合いました。

予選大会を勝ち進んだ40人は、28日の決勝大会へ出場し、それぞれ持ち時間の3分間でさまざまな高難易度の技を披露して観客を魅了しました。

熾烈な戦いを制し、見事に優勝の座をつかみ取ったのは、大阪府から出場した中学1年生の川本凌雅選手。川本選手は今回が6回目の出場で「初めて優勝できて嬉しい。家族、チームメイト、応援してくれた皆さんに感謝している」と喜びをかみしめました。



▲華麗な美技を繰り出す川本選手



▲受賞した選手の皆さん

身近な大自然を舞台に

7/17・18 地域の人々と一緒に学び、体験した 津田小初の浅原野外活動！

津田小学校の野外活動が、あさはらまちづくり交流センターで初めて実施され、5年生12人が参加しました。

川遊びや即席かまどを使ったピザづくりのほか、田舎体験施設の寺子屋洋燈で思いっきり体を動かすなど、自然を感じて楽しみました。また、夜は避難所体験として、児童自らが段ボールベッドを作り就寝しました。

参加した橋本唯司さんは、「川遊びや寺子屋洋燈がとても楽しかった。段ボールベッド作りは大変で、避難の大変さが分かった」と笑顔で話しました。

浅原地区の人たちのサポートで実現した野外活動は、子どもたちの心に深い感動と学びをもたらしました。



▲浅原を流れる小瀬川で川遊びする子どもたち

実施内容

宮島におけるゴミ削減に向け、ゴミを「持ち込まない・増やさない」

スマグとは

ゴミ箱内のセンサーがゴミの量を検知し、自動的に約5分の1まで圧縮するとともに、集積状況が逐次クラウド送信されることで、即時に状況を確認することができ、シカの誤食を防止するとともに、ゴミ回収作業の効率化が期待できます。



▲宮島口旅客ターミナル



▲TOTO宮島おもてなしトイレ前

- ・ゴミ箱本体の分別表示により、観光客に適切なゴミの分別を促します。
- ・飲み残し専用BOXを設置することで、宮島特有の課題に対応します。

宮島 千年先も、いつくしむ。 MIYAJIMA

持続可能な観光地域づくりに向けて
IoTスマートゴミ箱「SmaGO」を
活用した宮島のゴミ対策モデル事業を実施しています
【実施期間：8月8日（木）～11月15日（金）】

問い合わせ 宮島ゴミ対策プロジェクトチーム ☎09224

宮島では、来島者数の増加やテイクアウトなど店舗の業態変化により、観光客によるゴミの置き捨てや、食べ歩きに伴う大量の飲み残しの処分などが課題となっています。

このため、市と県は、BIOPROGY株式会社、一般社団法人全国清涼飲料連合会とともに、8月8日から、宮島とその玄関口である宮島口において、スマグ設置のモデル事業を行っています。

この取り組みの効果検証を行い、今後の宮島におけるゴミ対策を検討します。

また、ゴミの分別やリサイクルに関する情報を、デジタルサイネージなどで発信することで、観光客のマナー啓発にも取り組みます。

※本事業は、環境省「こみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業（観光庁連携事業）」採択事業として実施しています